



平成30年1月31日

新宿区立江戸川小学校

No. 633

感謝の気持ちをこめて

2月3日は節分です。暦の上では春を迎えます。子供たちは、休み時間には元気に外遊びをしたり、縄跳びの練習をしたりして過ごしています。

さて、いよいよ6年生の子供たちは、卒業へのカウントダウンの時期になりました。最高学年として、あらゆる場面でリーダーとなり活躍してくれました。6年生は残り少ない小学校生活の一日一日を大切に過ごしている様子が見受けられます。また、5年生の子供たちも、次のリーダーとして期待に応えようと頑張っています。どの学年も子供たちの成長した姿を感じ、とてもうれしく思う今日この頃です。学校ではいよいよ本年度のまとめの時期を迎え、各学年意欲的に取り組んでいるところです。学校では折に触れ「あいさつ」の大切さについて取り組んできました。その中でもこの時期「ありがとう」の感謝の気持ちを伝える場面が多くあります。幸せを感じるのは「感謝された側」だけではありません。「感謝した側」もまた幸せな気持ちになるところに、感謝の言葉を伝える大切な力があるように感じます。日頃なかなか伝えることができない「ありがとう」があることに気付いたなら、この機会に感謝の言葉を伝え合ってみてはいかがでしょうか。きっと、幸せな気持ちになれるかと思います。学校でも残り少ない学年末、感謝の気持ちを伝え合いながら過ごしていけるよう取り組んでいきます。

子供たちは元気に登校していますが、寒さが増しているこの時期、体調を崩す子も増えてきます。引き続きうがい手洗い、換気等行ってまいります。ご家庭でもこれまで同様健康管理をよろしくお願いいたします。

2月の生活目標

時刻を守ろう

6年生を送る会

本校は、小規模であることの良さを生かして1～6年生までの交流がとても多い学校です。「なかよし班」と呼んでいる縦割り活動では、一緒に遊んだりあいさつ隊に取り組んだりしています。その班を仕切るのはいつも6年生です。企画や低学年への声掛け、当日の運営など教員が指示を出さなくとも進めているので大変頼もしく感じます。いつもリーダーとなって活動している6年生に、在校生も憧れや親しみを日々感じています。

そんな6年生の卒業を前に、今月23日には「6年生を送る会」があります。この会は「感謝の思いを互いに伝える」「次の学年にバトンを託す・受け取る」という2つの意味がある会です。在校生は、今までお世話になった6年生に楽しんでもらい、卒業後も思い出に残る会にしたいと、代表委員会を中心に装飾や出し物の準備を進めています。6年生も、江戸川小への感謝と在校生へのメッセージを込めて、出し物の準備をしているところです。互いの想いが通じ合うような、温かい会にしていきたいと思っています。

4年生の窓

4年生は元気いっぱい生活、学習に取り組んでいます。4月から委員会が始まり、仕事に対して前向きに取り組んでいます。友達と協力して係の仕事をしたり、体育のチームで作戦を考えたり、友達と関わるのが大好きで、楽しくて仕方のない時だと思います。係活動では4月から誕生日係があり、一人一人の誕生日を祝ってきました。10歳を迎える4年生は少しずつ大人に向けての心と体の準備をする学習に3学期は取り組んでいます。保健の学習では、心と体の変化について学習します。子供の体と大人の体では違いがあります。その変化をこれから、中学生・高校生で迎えていきます。昆虫は、幼虫から成虫へと変化するとき体の形を大きく変えます。人は形が変わるほどの変化をしますが、心と体の変化があることによって、大人になることを一緒に考えていきたいと思います。総合では「10歳の自分」を行います。10歳までの成長記録を知ることで周りの人への感謝の気持ちを持ち、そこから「今の自分」と「未来に向かって歩む自分」について考えていきます。

この学習のまとめに、1／2成人式を行います。自分という「いのち」が「かけがえのないもの」であるということを一人一人が感じられる機会にしていきたいと思います。